

衣替えの意義

【由来】

衣替えの由来は所説あるそうですが、一つに中国の習慣が日本に伝わったとされています。中国の宮廷では、4月1日と10月1日に夏服と冬服を入れ替えていた習慣がありました。これが平安時代に日本に伝わり、「更衣（こうい）」と呼ばれ、まずは宮中行事として定着していったようです。「更衣」という呼び方は、「衣服を替える」という意味のほか、帝の着替えを担当する女官の役職名でもあったことから、混合させるために「衣替え」を担当する女官の役職名と同じであったことから、混同をさけるために「衣替え」という呼称に変わったそうです。

【意味】

衣替えは、季節の節目に気温に合わせた衣服に着替える習慣を意味します。日本には四季があり、古くから季節に合わせて衣類を替える作業をしていたため、それが衣替えとなって生活に定着し、今日に至ります。

また、衣替えには衣服を整理整頓し、メンテナンスをするという意味合いも含まれています。今持っている服を把握し、不要なものは処分し、また次のシーズンにも身に付けるものはクリーニングに出すなどして、次に気持ちよく着られるようにしておきます。

【城北中学校では】

これまで時期や天候などを考慮し一斉に衣替えを行っていました。しかし、近年の気候の変化が激しく、急に暑くなったり、寒くなったりすることがたびたびありました。

そこで、本校では、一斉の衣替えを廃止し、通年それぞれ個人で適切な制服を選択し登校できるようにいたしました。

ただし、学校での式典や行事の際は服装を指示します。下記の城北中学校服装規定を確認し登校するようにしてください。

【男女・各学年共通】

上 …指定のカッターシャツ（半袖または長袖、ネクタイは使用しない。）

下 …制服の標準ズボン

標準スカート（スカートの丈は膝頭がかくれる程度とする）

靴下 …白、紺、黒のワンポイント

靴 …ひも付きの運動靴

名札 …学校指定のもの

ベルト …学校指定のもの（MJHS）

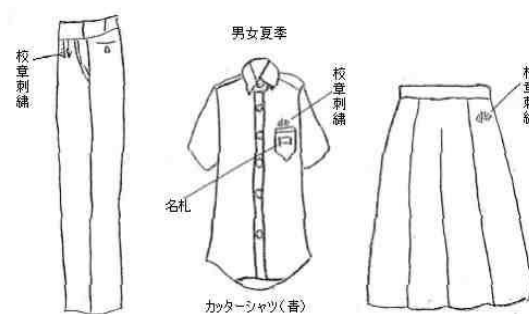
タイツ …黒

ズボン …男女ともに着用することができる。

◎ 式、行事の時は、学校の指定した服装（ブレザー着用）で登校する。

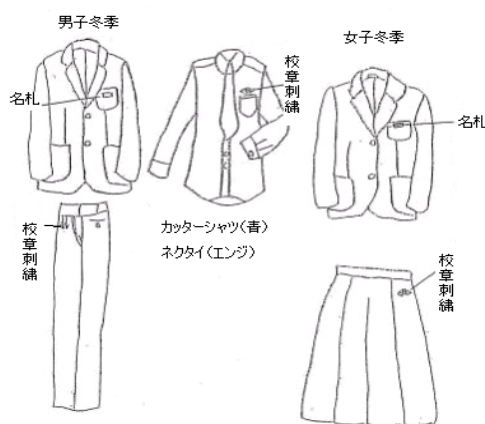
【暑い時期の留意事項】

- ◎カッターシャツをズボン・スカートに入れます。
ボタンは第1ボタンのみはずしてもよいこととします。
- ◎カッターシャツの下に着るTシャツは、白、黒、紺の無地（ワンポイント）のTシャツを着用します。
- ◎名札をカッターシャツ左胸につけます。



【寒い時期の留意事項】

- ◎名札をブレザーの左胸につける。
ブレザーを着用するときはネクタイを必ずつけます。
- ◎セーターやベスト、カーディガン等は、ブレザーとカッターシャツの間に着てもよいこととします。
※ブレザーを着用せずにセーターやベスト、カーディガン等のみを上着代わりにすることは認めません。
※セーターやベスト、カーディガン等は派手でないものとします。
※ブレザーの下にパーカーは着ないこととします。



制服とは

服装には、「私服」「公式な服」「礼」の3つの着こなしがあります。

- ① 「プライベートウェア」・・・私服であり、流行や趣味などを取り入れて自由に着る服のことで、自分の好みや価値観などが選ぶ基準になります。
- ② 「オフィシャルウェア」・・・ビジネスシーンからスポーツユニフォームなど幅広く、自分の好みだけでなく、場所や相手に合わせて着る服のことをいいます。
- ③ 「フォーマルウェア」・・・礼服ともいい、儀式に出るための正式な装いのことをいいます。

学校の制服は②の「オフィシャルウェア」となり、相手からどのように見えるかが大切で、自分の好みや価値観を取り入れる私服とは意味が大きく異なります。相手に与える印象を大切にするためにズボンの丈やスカートの丈など、すみずみまでルールを守って正しく着ることが大切で自らの心も整ってきます。制服の着こなしは相手に礼儀を尽くしていることにもなるのです。制服の正しい着こなしを心掛け、相手に与える印象を良くしていきましょう。